

き た は ら

喜多原だより

NO. 8 8

令和7年12月吉日発行

次長挨拶

長かった猛暑が過ぎ、大山を覆う木々の色づきに秋を感じる間もなく雪の季節を迎え、気づけば学園へ赴任して8か月が経ちました。豊かな自然に囲まれ、子どもたちの元気な声を聞きながら、児童が安心して暮らせるための施設維持管理や安定した生活を送るための予算執行管理など、学園運営の一端を担っています。

昼夜問わず、毎日懸命に子どもたちと向き合い続ける寮職員や分校の先生方とともに、子どもたち一人ひとりの安定した暮らしと自立、社会との調和を願う大人の一人として、施設運営管理の立場からできる限りのサポートをしていきたいと思います。

関係の皆様、喜多原の子どもたちは学園での暮らしを通じて数多くの愛情を受け、経験を積み、日々成長しています。どうぞ引き続き温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひします。

(次長兼総務課長 前田 耕次)

女子寮

バレー大会結果報告

10月16.17日に出雲だんだんトマトアリーナにて、中国地区女子児童バレーボール大会が行われました。勝ち星をあげることはできませんでしたが、4名の児童のみで正式参加し力を合わせて頑張りました。みんなで考えコートを盛り上げ、笑顔の弾けるとても楽しい大会となりました。交流会でも他施設の児童と交流ができ、笑いの絶えない2日間でした。最後まで全員で戦うことができ、達成感の味わえる体験だったのではないかと思います。



(女子寮職員 森明花)



〈児童コメント〉

みんな初めての試合で緊張してたけど、点が入った時にダンスをおどってチームの緊張がほぐれて、盛り上がっていい試合になりました。

(女子児童 Yさん)

男子寮

駅伝大会結果報告



10月31日に伯耆町総合スポーツ公園にて、中国地区児童駅伝・マラソン大会が開催されました。雨が降る悪天候の中ではありましたが、参加児童それぞれが奮闘し、男子駅伝の部では準優勝を飾ることができました。

マラソンの部に参加した児童も入賞したり、自己ベストを更新したりするなどそれが日頃の練習の成果を発揮した大会となりました。（男子寮職員 上紙啓）

〈児童コメント〉

寒かったけど、最後まで走りきることを頑張りました。

（男子児童 R さん）

駅伝の部：第2位 40分4秒

マラソンの部(中学生男子)：第3位 Y さん

学園行事

園遊会

園遊会は毎年、学園生活の様子を保護者の方や児童相談所の職員、原籍校の先生方に子どもたちが活躍する場を見てもらう機会となるよう開催しています。今年度は100名以上のお客様にご来園いただきました。たくさんの方々に見守られながら太鼓やダンス披露、生徒活動発表など真剣な顔つきで取り組んでいました。子どもたちにとって頑張るひとつのかきっかけとなった園遊会となったようです。



昨年度から引き続き、飲食ブースも開店しました。喜多原産のおこわや豚汁、男子寮は喫茶、女子寮はおけいこの成果を発表するためお点前をそれぞれおもてなししました。どのブースも大盛況で、子どもたちは笑顔で接客しました。

子どもたちやお客様、職員の一体感が生まれた会場は暖かい雰囲気に包まれていました。

（女子寮職員 朝倉梨花）

大山登山

学園行事で大山登山に挑戦しました。当日は天候が悪く、雨が降ることもありましたが、子どもたちは途中の急な坂や長い道のりにも何度もあきらめそうになりながらも、仲間や職員に励まされ、一歩ずつ前に進むことができました。しんどい気持ちを抱えつつも、自分で気持ちを切り替え、最後まで登りきれた姿には大きな成長を感じました。頂上では達成感あふれる表情が見られ、今回の経験が自身に繋がったように思います。

この挑戦を今後の生活にも生かしていくけるよう支援していきます。

(女子寮職員 谷本英美)



こたか保育園交流



2回目となる、こたか保育園との交流を行いました。今回は1回目で植えたサツマイモと一緒に掘りました。今回が初めての子どもたちもいましたが、「お兄さん」「お姉さん」を發揮し笑顔で交流していました。

とても大きなサツマイモと一緒に引っ張って掘り起こしたり、掘りやすいように土をよけたりとサポートしている様子が見られました。園児たちの持つて帰るサツマイモを持ってあげる姿もたくさん見られ、和気あいあいとした交流になりました。

掘ったサツマイモは寮でおいしくいただきました！

(女子寮職員 森明花)

乗馬センター交流

本年、2回目となる大山乗馬センター様との交流を実施しました。体験内容は乗馬・餌やり体験・ブラッシングの3つです。複数回この交流に参加している児童は馬との距離感が以前よりも近くなり、柔らかい表情と手つきで触れ合いました。初めての参加となる児童は馬の大きさや迫力に圧倒することもありましたが、すぐに馬のやさしさに気付き、少しずつ手を伸ばしました。

餌やりでは許可を頂き、学園の作業時間を使って栽培した人参を食べてもらいました。日頃から頑張っている作業がこのように誰かの役に立ったり、楽しさに変化したりするのはとても報われたような気持ちになります。

(男子寮職員 影山健太)



米作り体験～稲刈り・脱穀～



例年お世話になっている地域の方々の協力を得て9月下旬に稲刈り、10月上旬に脱穀をさせていただきました。稲刈りの前日まで雨が降っており田んぼがぬかるんでいましたが稲刈りとはでかけに取り組みました。脱穀も児童は汗を流して頑張り園遊会でおこわに調理してもらいました。

また年末に予定している餅つきも楽しみです。

(男子寮職員 前田隆文)

分校の様子

分校コラム

「学園集会」

火曜の午後の集会では、学期ごとにテーマを決めスピーチをするという活動をしています。2学期は「推しの〇〇」、自分の押しをみんなに分かりやすく伝えようと四苦八苦しながら原稿を書いていました。集会の目的は、自分の考えや気持ちを言葉や行動で表現する力『表現力』を身に着けることです。

どんな場面でも、自分の気持ちを言語化し、相手に上手に伝えられる力をつけていってほしいと思います。

(いずみ分校 先東淳子)

「心に残る園遊会」

今年の園遊会も、児童・生徒たちの真剣な表情と、楽しそうに取り組む姿の両方を見ることができ、とても心に残りました。

特にダンスでは、パフォーマンスしている児童・生徒と、それを見ている会場のみなさん的心が一つに重なり、会場全体が躍動感に包まれたように感じ、とても感動しました。喫茶店やお茶屋、また展示などもそれぞれに工夫があり、仲間と力を合わせて作り上げた成果が伝わってきました。

園遊会を通じて、子どもたちが仲間と協力し合い、達成感を味わえたことは、これから学校・学園生活にもつながる大切な経験になったと思いました。

(福生東小学校分教室 谷本孝文)

新任職員挨拶

11月からいづみ分校で勤務をすることになりました、武部 慶子（たけべ ちかこ）です。教員として働くのがはじめてのため、周りの先生方に助けていただきながら、毎日楽しく学校生活を送っています。生徒のみなさんが目標に向かって一生懸命に頑張っている姿に、いつもたくさんの勇気をもらっています。よろしくお願いします。

(いづみ分校 武部慶子)

学園関係

喜多原温泉（家族調整プログラム）

喜多原学園で家族調整の仕事を担当しています、赤井です。保護者さんと職員で話をする機会を作ったり、家族交流の日程や内容の調整をしたりしています。私たちは、保護者さんと職員で話をする会のことを「喜多原温泉」と呼んでいます。忙しい中、なんとか来てくださった保護者さんにポカポカ温まりリラックスして帰ってほしいという気持ちからこの名前をつけました。喜多原温泉することは3つ、①目標の一致②エピソディックカンファレンス③みるきくはなすです。

①目標の一致では、学園での子どもさんの様子を伝えたり、家族の状況を聞きながら、それぞれの強みについて話し合います。また、喜多原学園は「自立して社会と調和する子ども」を育てる理念のもと、子どもさんの持っている強みを生かす支援をしていくという方針をお伝えしています。同時に保護者さんの子育ての要望について伺い、お互いの目標を照らし合わせます。

②エピソディックカンファレンスは、エピソードを話し合うというものです。ねらいは、「強みを見つける」と「選択肢を広げる」の2つです。色々なエピソードから、保護者さんや子どもさんの強みを見つけ、対応の別の選択肢を話し合います。予期せぬアイディアが出てきたりして笑いが起こります。

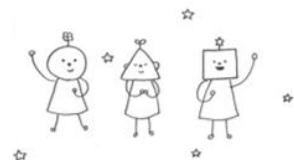


③みるきくはなす では、日ごろ当たり前に行っているコミュニケーションについて振り返り、考えてみるワークをします。こちらも「そうそう、わかるわかる」などの気持ちを共有し、につこり笑顔になることがほとんどです。②③について、保護者さんからは「楽しかった～」「やってみよ～」「そういう考えもあったか」「子どもの良いところを思い出せた」「もっと早く知りたかった」などの感想をいただいています。職員の方も、保護者さんと一緒に悩み、気づき、笑い合うことで「私たちもそうだわ、一緒だ」と共感し、癒され、勇気をもらっています。

エピソディックカンファレンスやみるきくはなすは、喜多原温泉だけではなく、職員研修や子どもの生活場面でも活用しています。強みを見つけ、それを生かす必要があるのは保護者さんだけではないからです。子どもも大人も自分と相手の強みを見つけて仲間とつながり、みんなで自立と調和に向かっていきたいと思っています。

（女子寮職員 赤井智恵美）

よい対話のために知っておきたい3つのこと
—みる・きく・話す—



後援会関係

今年度、後援会の方々などから御厚志及びスポーツドリンクや食品などを寄贈いただきました。心より御礼申し上げます。

また、寄付していただいた後援会費で今年度の園遊会の運営や、子どもたちの運動用品の購入を行いました。多くの方々にご来園いただき、子どもたちも笑顔で園遊会を終えることができました。また、購入した運動用品を使い、日々運動に励んでいます。野球、バレーなど子どもたちの運動を支えていただいている。

喜多原学園では随時、後援会の役員・会費を募集しています。皆さんのご支援が学園で暮らす子どもたちの支えになります。

【会費振込先】(口座名)鳥取県喜多原学園後援会 (口座記号)01440-2 (口座番号)4066
※一口 1,000 円から募集しています。趣旨にご賛同いただける方はご協力よろしくお願ひいたします。

お知らせ

全国児童自立支援施設協議会は機関紙「児童自立と WITH の心～児童自立支援施設の実践～」を発行し、毎年度いろいろな特集テーマで実践知を蓄積しております。

同協議会ホームページより閲覧可能です。



喜多原学園では現在、女子寮の夜間支援員（会計年度職員）を募集しています。

大学生などが多く活躍してくださっています。



詳細はこちらから！

令和7年度 年間行事計画

4月 観桜会、遠足	10月 大山登山、バレー大会、脱穀、駅伝大会
5月 こたか保育園交流、乗馬交流	11月 園遊会、乗馬交流
6月 田植え、	12月 こたか保育園交流、クリスマス会、餅つき
7月 野球大会	1月 とんど、スキー・スノーボード体験
8月 海水浴、川遊び、夏休み行事	2月
9月 デイキャンプ、稲刈り	3月 卒業を祝う会

児童在籍情報 ※R7年12月1日時点

小学生		中学生		計
男子	女子	男子	女子	
1名	0名	7名	6名	14名

編集発行

鳥取県立喜多原学園

鳥取県米子市泉706

TEL 0859-27-1101

FAX 0859-27-1611